

OB会だより**国臨協OB会関東信越支部**

平成26年 5月 1日

NO 59 号

発行責任者 小原 千秋

編集責任者 藤川 淳策

国臨協OB会関信支部事務局

東京都調布市小島町3-89-4

TEL: 0424-86-6710

第33回 総会・懇親会告示**国臨協OB会関信支部****会員各位****会長 小原 千秋**

満開の桜もいつしか散り、鮮やかな葉桜になり緑の映える新緑の季節となりました。

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

体調はいかがでしょう？

4月から消費税が8%にアップし、年金は値下がり、物価は便乗値上げされ、年金生活者にとっては陰しい年を迎えました。

平成26年4月15日発表された総務省の人口推計では、65歳以上が25.1%となり初めて4分の1を超えた。一方で、14歳以下は12.9%で過去最低になった。人口ピラミッドは安定感から遠く、3年続きで人口は減っている。「お若く見えますねと言われたら、年をとったなと言われていると思え」と米国の随筆家アービングが言っていた。超高齢化と人口減の社会が甘いはずもないけれど、皮肉をきかせた警句より、ここはウルマンの前向きを支持したいものだ。リタイア後、あこ

がれた「毎日が日曜日」の暮らしを無聊（ぶりょう）がる人もいる。あとは人生訓と説教癖というのでは少々寂しい。60代は高齢者に非（あら）ずの意気と体力を鍛えるところか。

昨年の6月に、秦会長から引き継ぎ早や1年が経過しました。これといった活動はできず反省していますが、「OB会便り」だけは予定通り3回発行出来ました。

さて、今年も総会の時期になりました。下記の通り開催いたします。1年に一回の開催です、万障お繰り合わせの上、ご出席をお願いいたします。なお、出欠については同封のハガキにて5月24日（土）までに近況報告を書き添えの上、返送下さる様お願いいたします。

記

日 時 : 平成26年6月7日(土) 12時30分 開始

場 所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)JR市ヶ谷駅下車 徒歩2分

千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

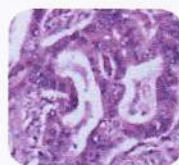
懇親会費 : 9,000円(OB会年会費 2,000円、懇親会費 7,000円)

出欠ハガキ締め切り : 出欠・近況報告を書き添えの上 平成26年5月24日(土)

以上



老犬と癌



油井 慎暉

我が家の黒ラブ（ラブラドル・リトリバー）Jungユンクは、15才の春頃、右そ径部に鶏卵大の腫瘤をみとめ触ってみると比較的柔らかいので老犬性の脂肪腫ではと高を括り1ヶ月ほどほっていたところ手拳ほどの大きさとなり掛かり付けの動物病院で針生検を施工した。扁平上皮化生を伴う腺癌（癌の悪さは中等度以下）と病理診断を受け、手術を行いその腫瘤を摘出した。獣医によると肉眼的には幸いその腫瘤は平滑でやや堅く皮膜に覆われているので恐らく転移は無いだろうとの事でほっとしたのを今でも覚えている。筆者は退官して3日目から検査センターの病理検査にたずさわり早16年を向かえる。主な仕事は目くそ鼻くそほどの1mm角位の大きさの胃や腸の生検材料のヘマトキシリン・エオジン染色標本の病理診断の下書き、補助、および病理組織診断のダブルチェックなどを行っています。

この数年来、目につくのは御存知ヘリコバクター・ピロリ菌の存在で、こいつは我々（森・渡部・油井）のころはキャンピロバクターに分類されていたがその後ヘリコバクター・ピロリ菌に命名された様だ。一般に細菌類は弱アルカリの中で浮遊しているが、このピロリ菌は胃液PH1～2の強酸性で浮遊するのが大好きな様で、しかも好中球をまじえた高度の炎症を起こし胃粘膜を爛れさせ、十二指腸潰瘍や胃潰瘍を誘発し慢性化に移行していくと前癌病変を惹起すると云われている。ピロリ菌はグラム陰性桿菌でらせん状の形態をとり鞭毛をもち、胃粘膜の表面に形成、粘膜層の中や表皮の粘液膜上皮に付着する様に感染し増殖をする。

意味じくも筆者は先年ピロリ菌を胃袋に飼育し除菌剤を1週間服用し、その後呼吸の検

査でピロリ菌は逃げていった様だが、会員諸兄も一度みてもらっては如何なものか。

癌はなんでも悪い奴らだが、島倉千代子の人生いろいろではないが、癌もいろいろありよく分化され一見正常細胞もどきの高分化、あるいは超高分化癌は、まだ悪い奴らの中でもいい方で、胃粘膜の表層部あるいは乳頭状にもり上がるが傾向にあり、早期に摘出すれば西口の小便横町に通えることは可能になる。

一方胃粘膜の表層部は一見なんともなく、水鳥の様に見ればただなんの苦もなき水鳥の足にひまなきではないが、胃粘膜の深部の方に深く静に潜行（浸潤）するきわめてたちの悪い奴らでいわゆる低分化癌の硬癌で癌細胞は少ないが、繊維成分を取りくみやたらと下に沈んで（浸潤）いくスキルスといわれるそれを印環細胞癌（西欧で使用されていた指輪の先端に名前の刻まれた印に形が似ていることの由来）等々がありこれらはやや発見が遅くなる傾向が見られ摘出しても西口の小便横町に通うのが前記の癌に比べるとややスムーズには行かないかも。ちょっと寂しいかな。

超高齢化の筆者などは、身体の天辺から下までが細胞の萎縮変性が加速され既に死への一本道が決まっている細胞ばかりで以后絶対再生不可能だと思っていた矢先、突然割烹着姿のリケジョ（理系女）のお嬢様が酸に浸して細い管に通すそんなことだけで死にかけていた細胞が細胞の記憶が初期化され何にでもなれる万能細胞いわゆるSTAP（スタッフ）細胞の発見、これには世界がぶったまげた。戯言ではあるが夜な夜な泥酔している筆者にとっては、お酢でのキューリもみ、酢蛸、レモン杯等々酸味にはことかかずたぶん細胞の初期化が起きて万能細胞ができるのではないかと夢の又夢の様なことを [次ページへ](#)

冗談めかしく考えても不思議ではないかも。

難病に苦しむ患者さんたちのためにも再生医療に貢献すべく是非ともどうかリケジョ(理系女)お嬢様、たたかれてもたたかれても、くじけずに研究に専念していただきたいと思うのは筆者だけだろうか。

さて愛犬ユンクは癌の再発はないが、こんどは甲状腺の機能の低下症を併発し活力の低下、目がり、動作緩慢、無気力となり老衰も

かかなり散歩もままならず、食慾はほとんどなくなり昨年の暮れ12月8日ニイタカヤマノボルの真珠湾攻撃の夜スポットで口に水を含ませているうちに静に天国にいきました。

ユンクがいなくなって半年近くになるが、元気なころ隅田川の辺りで泳ぎまくっていた雄姿を懐かしみいまだ線香をたやさない今日このごろです。

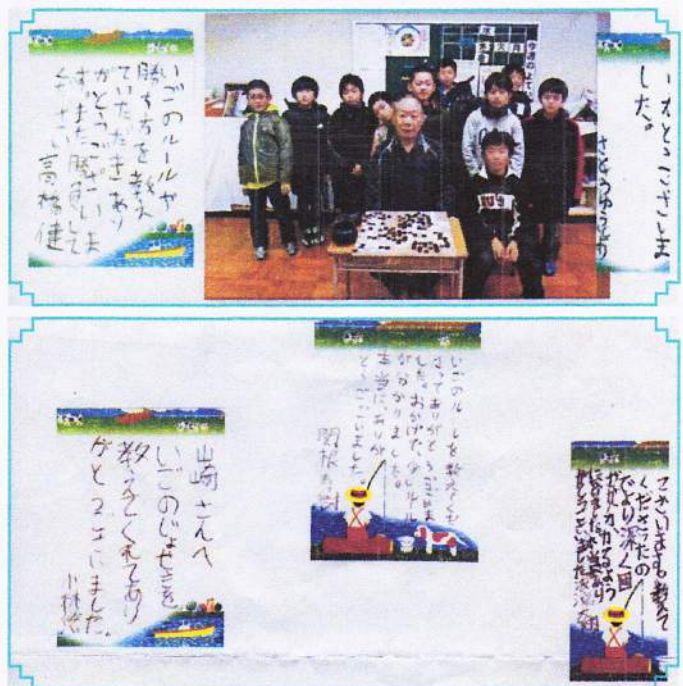
囲碁三昧

山崎 将 宏
(柏崎在住。元新潟病・西小千谷病)

リタイアして早いものであつという間にふた昔が過ぎようとしている。

最近、少し時間ができ、若いころに覚えた囲碁三昧に明け暮れ、おかげさまで退屈しないし、頭の体操でボケ防止、それに人との交流もでき、いろいろ元気をもらっていることづくめである。

それに、数年前から地元の小学校からお呼びがかかり、囲碁クラブのお手伝いで、孫くらの子たちと打ち興じている。



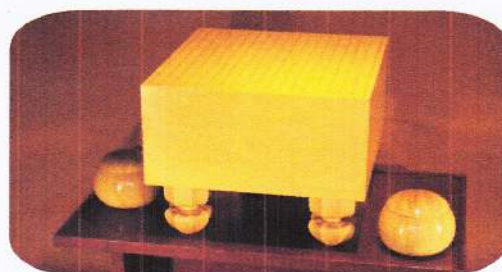
近頃、小中学生の囲碁、将棋ファンが多く活躍も目覚ましい、先日テレビで日本の小学

生が世界の子ども選手権で初優勝したとあったし、県下では三兄弟がそろって昇段試合に優勝している。

子どもばかりでなく、ご婦人の愛好者も多い、地域のコミュニティの囲碁友の会にも加入し週一回顔を出しているが、わが友の会には残念なことにご婦人の会員がいない、なので、ご婦人とのお手合わせをしたことがない。

退屈しないと書いたが、囲碁の楽しみは碁仲間と対戦するばかりでなく、詰碁や次の一手などの問題集を解いたり、プロ棋士の打ち碁を置いてみたりと一人でも結構楽しめるのである。

囲碁のルールはいたって簡単、だが、奥が



深く、天井が碁盤に見えるほど努力をしているが、まだ、精進が足りないでいる。そんなことで囲碁を覚えておいて良かったとつくづく思い余生を楽しんでいる。

今日は、越後からなかなか OB 会に出席できないでご無沙汰しておりますので、近況を報告させていただこうとペンをとりました。

では 駄文お許しください。

思いつくままに

佐藤乙一

失った財布

平成22年11月、水戸に住んでいるイトコに呼ばれて訪問した。座席指定券を取るために3日前に購入し、定期券入れに入れた。当日水戸着。出迎えたイトコと食事。お金を払おうとポケットに手をいれたが財布がない。スーツの内側ポケット、左右外側ポケットを探る。普通使うことのないズボンのポケットまでも、だがない。

冷汗三斗の思い。

財布にはお金のほかに銀行のカードその他さまざま収納、つい先般お逢いした方の名刺までも。イトコは言った「落としたのでしょうか」と。

お金は〇万円也。帰京して警察に届け出、もしや電車の中でもと駅にも紛失届をした。

呆け老人、いつの間にやら財布紛失も忘れていた。平成26年1月某日のことだった。歩いて2～3分のところに家を建て嫁いでいる娘がほのかに笑いを浮かべながらやってきた。「前に財布を失くしたよネ。」私は「ウン」手品ではあるまいに、「それがあるんデス」とのこと。「まさか？」と思った。当然探したところのある車の中。だが助手席の下奥まったわかりにくいところに3年余り利子もつかず、そのまま眠っていたというわけ。当然のことながら〇万円は礼金に化けてしまった。

「アアー」

高校生の立ち話

中央線上り電車。東京行き国分寺で東村山行きへ乗り替える。また、ここで川越行きに乗り替えて「航空公園」が下車駅だ。

この東村山行の沿線には高校が多い。国分寺止まりの電車で乗客が降りるとここからは生徒集団がドーツと乗り込む。高齢者も乗り込んでくる。

ある座っている高校生に言う、「おい 譲っ

てやれよ」「高齢者 高齢者と言っていれば、俺達が座る時はないじゃん」「いいんだ やがてお前も俺も年を取ってゆくんた、そうしたらきっと、その頃の若い人が席を譲ってくれるだろう」久々にいい生徒に会ったような気がした。

いい言葉

こんなことを聞いたことはないだろうか？

「若い頃流さなかった汗は老いて涙となって流れる」学生諸君にはよく話している。心に響くだろうと 話は展開する どこまでもどこまでも限りなく広がっていく。人生への将来に。

悪いクセ

持って生まれたクセか年齢のせい、悪い癖がある なくて7クセというがそんなものじゃない。

例えば 押し入れの戸を開ければ開けっ放し、電気をつければ消すことを知らない。真夏に冷房をつけたまま外出、誰も居ないのに2階は冷え切っているなど。つい3～4カ月程前のこと家の前の道路を歩いている知らない人に声をかけられた。

「もう長い時間車庫からの水がジャージャー流れていますヨ」何事もこんなものである。止めることを忘れていたのだ。やっぱり来たのだ。ボケが。

その話もう7回位聞いた

毎日食事を作りに来てくれる嫁いでいる娘が私の右側に座って終わるのを待つ。それから帰って主人の夕食をつくるのだ。

佛像ではないから 食事しながら話題提供だ。娘はおかしくもないのに意味ある笑い。「その話もう7回位かな」親子でもそう言われるとウンザリする。「病院訪問しても同じ話をして歩いているのかなと思ってゾーとする。

OBの皆さんはどうですか？

その話を、ある技師長さんと話していたら「いいじゃないですか 話題は同じでも本を読んでいるのと違いマルマル同じでもないからサ」と。こちらから話すのではなく現役や若いOBさんから逆に聞くことにしよう。

7対3位だった

何のことかわかるだろうか？ 大方の人がこれだけではわかりにくいだろう。「バスか電車か」といえばおおた気がつくはずだ。シルバーシートに座っていた若い人が座席を譲ってくれた数のこと。今やシルバーシート言わないで指定席と呼称、それもこの頃は「ジドウセン用」の頭文字がつきそう。

杖を突いた老婆がバスに乗り込んでくる70～80歳位か、今や杖つく老人は山程いる。その老婆「私に席を譲れ」と言わんばかりに視線を向けてくる。

こちらから言いたい。「お婆ちゃん私92歳だよ」と。周りに座っていた会社員風の人は「俺は疲れているんだ」と言いたげだ。朝だというのに腕を組んで眠りこけている。でも譲った後の気分というものは爽快だろう。それも朝ならなおさらのこと。私は譲られるのが7、譲るのが3というところか。

漢方薬は正規の薬

草根木皮や一部鉱物をも使った薬に漢方薬がある。これは厚生省も認めた正規な薬だが同じ症状でも体質によって異なるという。肥満者か痩せ体質かによって、使う薬が違う筈。「薬局に相談して買ったのだが、さっぱり効力ない」という話はよく聞く。

漢方医の話だが素人が「これがいい」と言って選ぶ漢方薬はあてにならないという。薬局で漢方の勉強をしたことのない薬剤師から買うことNG。肥満、痩せ、脈の強弱、舌のコケ、顔色などによって薬は違うのが漢方だ。

あの遺骨はどうなった？

OBの皆さん この話ご存じだろうか？ 要点はこうだ。

今の国際医療センターの入り口右側には通路があつて坂道になっている。そこを下りきった辺に国立感染症研究所がある。この土地は、戦時中の陸軍軍医学校だった。平成の初め感染研を建てるために掘り返したら遺骨が出るわ出るわ、その数100体にも及んだとされる。中国の戦場で戦死した人達の物らしいとは、当時の情報だが詳細はまだ未知だという。専門家の鑑定ではモンゴコイド系の骨もあり、ドリル・ノコギリ使用の跡もあるそうだがなぜかはわかっていないらしい。

もう1年位前になるだろうか、厚生省はこれを焼骨して然るべき方法で供養したいと言っていたがその後どうなったのだろうか。

少なくなったサプリの宣伝紙

普通だったら一昨日も昨日もそして今日と来たであろうサプリメントの宣伝紙。

サプリに異変が起きているというのだ。「夜中のトイレ回数が少なくなった」「血糖値が下がった」「肝機能が改善された」などなど。毎日の新聞や折り込みで賑わった。だが使用した人達の経験説は総じて「どうも・・・」との感想が多かったとされる。ついで出版されたのが某書だ。「効かない 止まらない 下がない」など。

「悪病になって家族に迷惑をかけたくない」と願うのは誰もが同じ。かく言う私も1～2種類お世話になってみた。だがどうも気休めというところか！

民間薬というものがある、「薬」としてよいかどうか不明だが、例えば、下痢、便秘によく使われるのがゲンノショウコ、昔は田舎へいくと軒下にぶらさがり乾燥していたものだ。「よく効く」が、「まあまあ」かに。採取期や採取場所によっては月とスッポン位の違いあるという。今は朝鮮人参が安くなった。

だが、これは日本産が多いといか。

マタギ症候群 (7)

藤川淳策

わが国の銃規制は世界で最も厳しいとされている。しかもその規制がさらに強化されつつあるのが現状といえよう。このことは歓迎すべきことであろうが、ただでさえ数を減らしているマタギはこのあおりで今や絶滅危惧種となりつつある。

2013年11月は小生の所持するライフル銃の更新時期。この銃を更新するためには多くの難関が待っている。この3年間隔の更新に際して、従来は必要書類と医師の診断書などがあれば比較的スムーズにことが進んだ。だが現在はちがう。

まず、専門の精神科医による詳細なチェック。そして近隣の住民などの聞き取り調査や、犯罪歴などを含む厳しい身辺調査。これらをクリアーしてもさらに銃の実射試験がある。この実射試験は従来なかったものであり、一定の標的に対して実弾射撃を行い、規定の点数以上を取らなければならない。たとえば1点でも点数が不足すれば不合格で、再試験か銃を手放すことになる。

実弾射撃の試験場は東京都住民の場合、静岡県西富士射撃場か栃木県のニッコー射撃場、群馬県のぐんまジャイアンツ射撃場であり、いずれも遠距離にある。試験に際しては射撃の成績のみでなく銃の安全な取扱いなども厳しくチェックされる。これを怠るとその時点で不合格。実射試験は受けられない。

小生のライフル銃はクマやイノシシ狩り用の大口径。オリンピックやその他の競技用の小口径ライフル銃とは異なる。小口径銃は弾が小さく、火薬の量も少ない。したがって発射した際に銃の反動も小さく命中率が良い。

なぜか実射試験の標的は大口径銃を使用するのにかかわらず、大口径用より一回り小さい直径16センチの小口径用が使用される。この標的を50メートル離れた所定の場所から立射または膝撃ちを20発行う。

ほとんどの受験者が膝撃ちで、40点以上を取らなければ不合格となる。この40点、という数字は、多くのマタギが使用している大口銃には難関であり1回で突破する受験者は少ない。ぐんまジャイアントでの試験日は小生を含めて7名の受験者がいた。初めて試験を受けるのは小生のみで、地の者は2回目、3回目であった。

小生も長野射撃場での練習の時には写真

小口径ライフル銃

50m用標的(教習用)



射撃年月日 2013年 4月 27日 射撃姿勢(伏射) 得点 95点
射手氏名 藤川淳策 (社) 全日本指定射撃場協会 40点以上合格
長野射撃場

のように、20発撃って1発外しただけで95点の成績であった。しかしながら、いざ試験本番となると監督者がすぐ後ろで目を光らしているために緊張したのか、4発も外してしまった。幸い試験は70点以上を取ってなんとか1回で合格したが、この歳でこんなに緊張したのは久しぶりである。

この新しい試験制度になって、わが国のライフル所持者は大幅に減少したといわれている。

厳格な身辺調査、自宅から遠い試験場、そして何より難関の実弾射撃試験。日頃、十分な練習をしないで、ただ銃を持って狩をする

だけなのは許されない時代になりつつあるの
だろう。しかし、高いハードルによりライフル
所持者が激減したため農作物の被害を心配
する声上がり、有害鳥獣駆除に参加してい
る者はこの試験制度の適用を免れるように
なった。

2012年12月31日の朝日新聞に次の
ような記事が掲載されていたので引用させて
いただく。それは人口100人あたりの銃の
数である。米国89丁、イエメン55丁、ス
イス46丁、フィンランド45丁、サウジア
ラビア35丁、イラク34丁、スウェーデン
32丁、・・・日本0.8丁。

これを見ると米国がずばぬけて銃の所有者
が多いことがわかる。中立国のスイスやスウ
ェーデン、紛争地の多い中東諸国も多い。また
長い冬に備えて保存食としてのトナカイやシ
カ猟の盛んなフィンランドも銃の所有者多い。

米国が銃の所持が極端に高いのはその歴史
と関係があるのだろう。独立戦争(1775
年～1783年)の時に活躍したのは猟師
達であるといわれている。

召集をかけると銃を持って、分単位で集ま
り、高い射撃能力と地理、地形に詳しく大活
躍をした。このため人々は彼ら猟師のことを
“ミニットマン”と呼んだ。すなわち、分単
位で集まり頼りになる人達のことである。今
日でも米国の戦略核ミサイルで、大陸間弾道弾
(ICBM)をミニットマンとよぶのはこのこ
とに由来しているそう。さらに西部開拓の歴
史についてはここで筆をとるまでもない。

四方を天然の要害ともいえる海に固まれ、
農耕民族として発展してきたわが国と同一に
考えることはできないのではない。米国に
限らず他の国々においても国防上の観点から
一方的な銃規制には議論があるようである。

平成25年度は諸般の事情により山梨県の
道志村が病の治療場となった。道志村は神奈
川県の丹沢山系と接する急斜面の山に固まれ

た村で、道志川のほとりのわずかな土地にぼ
つぽつと家屋が見られる。村の峠に登ると雄
大な富士山を望むことができる。

丹沢山系はそのほとんどが禁猟区となっ
ている。ここにはクマやイノシシ、シカなどが
生息する。しかし長年の保護政策のためか、
これらの哺乳類が増えすぎて山が荒れてしま
った。近年食べ物が不足したため、これ
らの哺乳類は周辺の道志村などに移動してい
るそうだ。

11月下旬、某氏と猟犬、植園氏と小生の3
人でライフルを片手に道志村に向かった。村
に着いて峠に登り、みごとな富士山を堪能し
た。そして猟場に向かう。(↓写真は道志村)



藪をかき分けて小川を渡ると、写真のように



イノシシが食事のため地面を掘り返した跡 013.11.20

イノシシが食事のため地面を穿り返した跡
がいたるところでみられた。足跡からする
と大物だ。ここから200～300メート
ル離れた場所には熊笹が群生しているの
で、そこで身を隠して昼寝でもしているの
だろう。

次ページへ➡

某氏が猟犬でこのイノシシを追い出し、植園氏が地面が穿り返されたところで立問を張



イノシシが食事のため地面を掘り返した跡

り小生が沢を200メートルくらい登った大きな岩の傍で立問を張ることになった。

しばらくすると無線に某氏の声が入った。“大物のイノシシがでたぞ”一気に緊張が高まる。植園氏と小生のライフルはボルトアクション式であり一発で仕留めなければならない。現在では多くのマタギが使用している、引き金さえ引けば弾が出る自動銃ではな

い。もし外せば獲物に逃げられるか自分が突撃されて大怪我をする可能性もある。

静かだ、銃声もしない。無線が入ってきた。某氏の声で“逃げられた”……。

猟犬が大怪我をしている。イノシシに牙で腹部を大きくえぐられてしまった。さいわい傷は腸に達していないようである。某氏によると大物のイノシシがあのかの熊笹の藪にいて、猟犬に追い出された際に反撃をして牙で犬を空中高く2～3回跳ね上げたという。猟犬が大怪我をしたため今日の猟は中止である。

ライフル射撃の名手と知られる某氏もイノシシを撃ちそんじて、反撃され足に怪我したことがあるそうだ。この時に傍の木に登って難を逃れたという。イノシシ猟はスリルに満ちている。

昨年、秋田県の伝統的な狩猟で使われる「阿仁マタギの狩猟用具」が重要有形民俗文化財に指定されるべく文部科学省に答申されたことをお知らせする。



平成26年度 会費納入のお願い

平成26年度会費・総会后懇親会費を含む金額は、下記の通りです。

合計金額 9,000円

年度会費 2,000円

総会后懇親会費 7,000円

(総会・懇親会出席者は、当日徴収します)

平成27年度より年会費を3,000円に値上げ(案)を総会に提案する予定ですので宜しくお願いします。

温泉に歴史あり

湯つぼを示す楕円形から立ち上がる3本の湯けむりー。温泉記号は、数ある地図記号の中で最も有名な一つだろう。でも、江戸時代の地図では単なる三角や丸で、おなじみの形になるのは明治時代。その後も、湯気のの線がまっすぐになったり揺らいだりと微妙な変化が続いた。国土地理院は先まで同じ太さ真ん中がやや高い3本の直線。2002年に揺らぐ曲線に変わった。

「リアルで親しみやすい」からという。



1885年



1942年



1895年



1965年



1891年



1955年



1909年



2002年